

令和 7年 1月28日

保健福祉企画総務課長 様

道路計画課長

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の  
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、令和 7年 1月23日岡山市くらしやすい福祉のまち  
づくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	表町商店街点字ブロック設置事業	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
資料にある点字ブロックの色について弱視の方に確認はしているか。	現地にて弱視の方とともに見え方の確認と輝度比の確認を行っています。	
将来的なメンテナンスはだれが行うのか。	岡山市が行います。	
点字ブロックの両脇にラインを入れて色を際立たせるのはどうか。	設置後見えにくいようであれば検討します。	
現在の図面では警告ブロックが横断歩道の幅と同様になっているが、車いすの方を考慮し、警告ブロックを減らすことは可能か。	減らすことは可能。車いすの方を考慮し、地元と協議の上、決定します。	
中之町商店会から上之町商店会に渡り切った印が欲しい。	現在、グレーの点字ブロックが設置されています。今回の設置区間は中之町商店会であるため、これを足掛かりに輝度比の取れた点字ブロックの設置を進めていきたいと考えています。	
点字ブロック上に物が置かれないよう注意喚起の看板等を設置してほしい。	意見があったことを商店会に伝え、設置の検討をします。	

<p>県庁通りに設置済みの点字ブロックのような色では見えにくい可能性がある。</p>	<p>県庁通りに比べ、商店街の舗装の色が濃いことから、見やすくなると考えられます。</p>
<p>北側の横断歩道に接続する誘導ブロックの途中にある警告ブロックは必要ない。</p>	<p>修正します。</p>
<p>色覚異常の方の色の見え方についても配慮してほしい。</p>	<p>極力安全に配慮し、設計を進めます。</p>
<p>点字ブロックとアプリの連動で道案内などはできないか。</p>	<p>現在計画はないが、全国の動向等確認しながら検討します。</p>
<p>エスコートゾーンを設置してほしい。</p>	<p>警察に要望があったことを伝えます。</p>
<p>中之町商店会以外に点字ブロックを敷設できない理由は？</p>	<p>商店街の負担により現在の点字ブロック舗装となっているため、地元と協議して納得のいく形で進めていきたいと考えています。</p>
<p>補修は岡山市で行うとのことであるが、中之町商店会と協力し、自分の店の前の点字ブロックが剥がれていたら岡山市に連絡するように連携を図ることはできないか。</p>	<p>中之町と協議し、検討していきます。</p>
<p>点字ブロックの両脇にラインを入れることで延命することは補修の一つの手法になりえないか。</p>	<p>検討し、適切な対応をします。</p>
<p>ゴム製の点字ブロックの場合、搬入車両の走行により通常より耐用年数が短くなるのではないか。</p>	<p>実証実験の際、点字ブロック部分を踏まないよう走行ができたため、問題ないと考えています。</p>
<p>イベント時にワゴンが搬出された際、点字ブロックの上にワゴンが置かれると視覚障害者の通行に支障がでるが、どのように対応するか。</p>	<p>誘導員の配置により、対応します。</p>
<p>商店街に自転車が停めてあることがあるが、点字ブロックの上に停めることがないようにしてほしい。</p>	<p>点字ブロックの設置後、現地をパトロールする等対応を検討します。</p>

<p>現在、商店街の真ん中に自転車に乗らないとうにと注意喚起の看板があるが、点字ブロックが敷設された際には、その看板はどこに移動させるか。</p> <p>横断歩道手前の警告ブロックに接続する誘導ブロックが2本になっているが、1本でよい。</p>	<p>中之町商店会と調整しながら、点字ブロックの妨げとならないよう設置場所を検討します。</p> <p>修正します。</p>
--	--